

笑顔かがやく あったかい心の交流体験



海から山までまるごと体験

3,000m級の山々、川、海がコンパクトにつながる、自然豊かな朝日町で農山漁村の暮らしをまるごと体験！
ふるさとの自然、景観、食、伝統文化。また会いたくなるあったかい魅力的な人たち。ありのままの暮らしを活かしたホンモノ体験には、子どもたちの「もっと知りたい!」という好奇心・探究心をかき立て、豊かな感性を育む感動がつまっています。

心のふれあいが生きる力を育む

農山漁村には、「結」の心で助け合う精神が息づいています。はじめての体験を仲間と協力して挑戦する楽しみ、達成する喜びはかけがえのないものです。あたたかな心のふれあいが、信頼や絆で人とつながる力を育みます。

朝日町のファンづくり

受入家庭と生徒が、手紙やメールで何回もやりとりをしたり、お手伝いしてくれた野菜・果樹・お米が実ったら送ったりと、受け入れ後もあたたかな交流が続いています。うれしいことに、夏休みに早速、農家さんのお宅に家族旅行で遊びに来て下さり、お米の定期購入にもつながりました。子どもたちとのあたたかな笑顔の交流が、朝日町を元気にしてくれています。

■ 受入家庭でのタイムスケジュール例

時間	漁村	農山村	街なか
14:00	入村式 自己紹介		
15:00	神社へお参り 魚釣り 魚さばき	夏野菜の苗植え 野菜収穫 サバの押し寿司づくり	庭の記念植樹・花植え 地元のお店で買い物 家庭料理づくり
18:00	夕食（普段食べている家庭料理） 団らんの時間（星空観察・将来の夢のお話・お茶の時間） 入浴（温泉など近くの入浴施設・家庭のお風呂）		
22:00	消灯（布団を敷く）		
6:00	起床（布団をたたむ）		
7:00	刺し網漁の魚の網外し 漁港で朝食 ヒスイ海岸散策	朝食 近所をお散歩 フキ採り	朝食 田植え（体験サポーター） パタパタ茶体験
12:00	昼食		
13:00	離村式（記念撮影）		

※滞在時間は、学校等により異なります。

とやま体験型修学旅行 2泊3日モデルコース

一日目

- 朝 学校出発
- 昼 途中で食事



- 朝日町「民泊」入村式
- 各受入家庭で体験

二日目



朝日町「民泊」離村式



黒部川ラフティング
● 民宿・ホテル泊

三日目



富山市・高岡市班別学習



立山黒部アルペンルート雪遊び
● 学校へ到着

■ 農林漁業体験プログラム

クラスの絆を深める、団体での農林漁業体験プログラムもご用意しています。1日目は「民泊」、2日目はクラス分宿での「民宿」、もしくは「ホテル」泊をご利用いただき、朝日町に泊まらないと体験出来ない早朝の漁業体験や星空観察などをお楽しみいただけます。

海から山まで 朝日町での子ども民泊



大阪にかわいい孫が出来たよう！

「二日間、家族だからね。富山のじいじ、ばあばと呼んでね。」そんな自己紹介から始まった民泊の受け入れ。とても仲良しで素直な子たちでホッとしたそうです。
早起きして、刺し網漁の魚の網外し体験。とれたてのシタビラメ、キジハタを捌いて、ワタリガニも追加した漁師汁！朝仕事を終えて、漁港で円座になっていただくごはんは格別のおいしさで、みんな大喜びでした。
「大阪に孫が出来たよう。」受け入れ後も、手紙や年賀状のやりとりが続いています。
「不安なことはキリがないけれど、まずは、気楽に受けてみて下さい。」とのアドバイスをいただきました。

一升のご飯をペロッと！ 元気なお兄ちゃんたちに子どもたちが懐いて感激

人見知りの小さいお子さんがいる善田さんご家族。離村式で我が子が、「お兄ちゃんたち、帰ってほしくない〜。」と抱っこされた姿に感激されたそう。先生方も、あのやんちゃな生徒が子どもの面倒を見てると喜んでいました。食事の準備は、男子中学生がどのくらい食べるのか分からなくて大変だったそう。「お代わりあるからね。」と多めに炊いた一升のご飯が、ペロッとなくなりました。薪割りや柿木の手入れの他、趣味の魚釣りや魚さばきも体験。初めてのことも、最後までやり遂げてくれました。山から海まで体験できるのは、コンパクトな朝日町ならではです。

里人と人がつながるゆるやかな暮らし



野菜の苗植え

もぎたて野菜をぱくっと

ジャガイモの土寄せ

苺の収穫とジャムづくり

田んぼの押せ植え

遮光ネット張り

体験を考えることが、町の宝ものさがし！

「次、来る子たちには、何を体験させようかな？」去年の2回の受け入れを思い出しながら準備を進めておられます。
畑では、玉葱や白菜、柿を収穫。「苺を摘みながら、パクパクおいしそうに食べてたわ。」近所をお散歩して神社にご挨拶したり、小川温泉に行ったり。
「ちょうど、同居しているおばあちゃんの誕生日で、ケーキにデコレーションして、みんなでお誕生会を開いたのよ。」お二人のあったかい笑顔に包まれて、子どもたちは、のびのび過ごしていました。
初体験に目を輝かせる子どもたちの新鮮な反応に、あたりまえに感じていた朝日の魅力に改めて気付くきっかけにもなったそうです。

「おかわり！」のうれしい笑顔がうれしくて

「とにかく、楽しかったよ〜！」笑顔でお話し下さった廣田さんご夫婦。受け入れ後に生徒から、「廣田さん、私のこと忘れていませんか!？」とお手紙をいただいたそう。「忘れてないよ！運動会、受験勉強ガンバレ！ガンバレ!」。また、イカメシ食べたい。桜の花がみたい。」そんなやり取りが続いているそうです。
夕ご飯用に、郷土食のサバの押し寿司を、一升分のご飯が入る木枠で生徒と手づくり。お隣の農家さんが、ハウス栽培の野菜を収穫させて下さり、とれたて野菜が食卓に並びました。
一家団らんの時間、「どれもおいしい」とたくさん食べてくれて、生徒たちのかわいい笑顔が忘れられないそうです。

海 ヒスイ海岸で漁村の暮らし



刺し網漁の魚の網外し

宮崎漁港で魚釣り

ヒスイ海岸で宝ものさがし

牡蠣の殻むき

天草でトコロテンづくり

お守りのまが玉づくり

山 恵みがいっぱい！里山の暮らし



炭焼きのための樫材運び

フキ採りと皮むき

わさび田の杉葉拾い

桃の摘果

ブルーベリーの記念植樹

里山トレッキング

食 普段の食事がとびっきりのごつつお！



一升の木枠で押し寿司

みんなで一緒に手づくり

お茶摘みと焼茶づくり

おやつにはおぎづくり

窯で手づくりピザ

トロロ昆布のおにぎり